

平成21年度 市役所の主な業務と連絡先 ②

3市民センター

田鶴浜市民センター	☎68-3131
各種の窓口業務などについて	
中島市民センター	☎66-1111
各種の窓口業務などについて	
能登島市民センター	☎84-1111
各種の窓口業務などについて	

サンビーム日和ヶ丘

生涯学習課	☎68-6595
生涯学習（青少年教育ほか）などについて	
田鶴浜図書館	☎68-6785

中島文化センター

文化振興課	☎66-2325
文化芸術の振興、能登演劇堂などについて	
(財)演劇のまち振興事業団（能登演劇堂）	☎66-2323

中島図書館	☎66-8000
-------	----------

能登島市民センター内

能登島観光対策室	☎84-1113
能登島地区の観光について	
情報センター	☎84-0055

パトリア 4階 フォーラム七尾

男女共同参画課	☎52-5222
男女共同参画社会の行動推進・啓発、相談業務、国際交流などについて	

七尾サンライフプラザ

健康推進課	☎53-3623
食育、健康増進計画、母子保健、成人保健などについて	
生涯学習センター	☎53-3661
女性会、青年団、成人式などについて	
本府中図書館	☎53-3662

その他 出先機関

公設地方卸売市場	☎53-4433
七尾美術館	
能登島ガラス美術館	☎84-1175
市史編纂室	
和倉まちづくり推進室	☎62-1221
上水道管理センター	☎53-8432

主な住所先

市役所本庁	〒 926-8611 七尾市袖ヶ江町イ部 25 番地
ミナ. クル	
田鶴浜市民センター	〒 929-2192 七尾市田鶴浜町り部6番地
中島市民センター	
能登島市民センター	〒 926-0292 七尾市能登島向田町ろ部 1 番地

★平成21年度 4月1日から市役所組織が一部変更になりました★

業務の簡素・効率・減量化を図るとともに、柔軟に対応できる体制の整備や行財政改革の推進のため組織などの見直しを行いました。

	20年度①	21年度②	差引(②-①)
部	8	8	—
課	35	30	△5
市民センター	3	3	—
室	13	18	5
グループ	12	28	16
係	103	58	△45

課の統合・再編等

- ①人事課 → 秘書広報課に統合
- ②情報政策課 → 企画経営課に統合
- ③男女参画課 → 男女共同参画課に名称変更し
まちづくり課 フォーラム七尾内に配置
- ④高齢者支援課を廃止 → 福祉課と保険課に再編
- ⑤水産課 → 農林課と統合し、
農林水産課に名称変更（本庁2階）
- ⑥建築住宅課 → 都市整備課と統合し、
都市建築課に名称変更

窓口等の変更

- ①情報公開、くらしの相談などに関すること
→ 秘書広報課
情報公開・くらしの相談担当（本庁1階）
- ②市民協働、市民憲章に関すること
→ 地域づくり協働推進室（本庁1階に新設）
- ③国際交流に関すること
→ 男女共同参画課（フォーラム七尾）
- ④高齢者福祉に関すること
→ 福祉課（ミナ. クル2階）
- ⑤介護保険に関すること
→ 保険課（ミナ. クル2階）
- ⑥勤労者に対する小口融資等に関すること
→ 産業政策課（本庁2階）
- ⑦水産振興に関すること
→ 農林水産課（本庁2階）
- ⑧漁港整備に関すること
→ 土木課（本庁2階）
- ⑨ケーブルテレビに関すること
→ ケーブルテレビ推進室（本庁1階）
- ⑩市有財産に関すること
→ 総務課管財室（本庁4階）

しあわせの和を広げよう

「市民のねがい—七尾市民憲章—の普及に取り組む活動紹介」



真剣な眼差しで看板づくりをする東部中学校美術部の生徒

市民のねがい矢田郷地区実践委員会では、地元の城山地区青年会が約10年前に制作した看板の老朽化に伴い、「市民のねがい」(市民憲章)を普及するとともに、あいさつ運動をさらに盛り上げようと今回新しい看板を作成した。

看板のデザインは地元の東部中学校美術部の協力により、地域住民に長く親しまれ愛されるものをということで制作が始まった。美術部顧問の出崎先生は「美術部は個人活動が多



完成した看板の除幕式(3月15日・天神山小学校前)

「地域で長く愛されますように」

いので、外に向けて作品を発表する機会は少ない。今回の活動が地域の役に立つということで、部員一人ひとりがやりがいや喜びを感じてくれたのではないか」と話した。美術部の生徒も「みんな一生懸命やったので想いがこもっている。納得のできる作品になつた」と自信をのぞかせた。

看板は、天神山小学校の正門と裏門に設置させているので近くを通った時にはぜひ足を止め、看板から生徒たちの「心」を感じてもらえればと思う。

「ありがとうございます」「大変お世話になりました」と七尾の皆さんに伝わるかなとずつと考えていました。

「ありがとうございました」「それだけの言葉に2年間の想いを込めるとは難しいです。考えた末、今のありのままの素直な気持ちを書こうと決めました。

2年前、七尾へ来る時はうれしさと同様に親から離れる寂しさも大きかったです。でも、今の寂しさはそれよりもっと大きいです。一度離れるといつまた会えるかわからませんが、七尾でたくさん学んだ事、支えてくれた上司・先輩・友

私がコラム文章を書くのは、今回で最後になりました。どんな内容を書けば、私の気持ちをちゃんと七尾の皆さんに伝わるかなとずつと考えていました。

「ありがとうございました」「大変お世話になりました」と七尾の皆さんに伝わるかなとずつと書いていました。

お決まりの挨拶は言いたくありません。七尾は私のもう一つのふるさとであり、皆さんには私の大事な家族です。

皆さんのがこの文章を読む時、私はもうすでに中国に帰っています。「七尾の桜はもう咲いているかな?」「皆さんは元気にしているかな?」と思ひながら、日々を過ごしています。

七尾に来られて、そして皆さんと出会えて、私は本当に幸せでした。



私の素直な気持ち

七尾市国際交流員(中国)

王 栄



だちの事、悩み、喜び、楽しかった気持ちを全部胸に抱えて、新たなスタート地点から出発します。

2年間、皆さんに支えられ頑張ることができました。そして、これからまた七尾に来る時は「たま」と言えるように、七尾の皆さんが私の事を思い出した時「あの子は昔七尾にいたよ」と誇りを持つて言ってもらえるように、中国で頑張ります。

お決まりの挨拶は言いたくありません。七尾は私のもう一つのふるさとであり、皆さんには私の大事な家族です。

皆さんのがこの文章を読む時、私はもうすでに中国に帰っています。「七尾の桜はもう咲いているかな?」「皆さんは元気にしているかな?」と思ひながら、日々を過ごしていきたいことでしょう。

七尾に来られて、そして皆さんと出会えて、私は本当に幸せでした。

